

Case : 238

人の足をひいた衝撃で、バランスを崩しそうになる

場面の説明

ベンチに座っていた人の足を歩行車でひいてしまい、キャストが浮いたことでバランスを崩しそうになった



利用シーン	 移動  外出
主な利用場所	 その他
介護保険の種目	 歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

屋外での歩行車の利用では、段差や放置自転車など様々な障害物がありますが、人の足であってもそのような障害物になりえるという事例です。歩行車や杖を利用している人は、少しの段差や凹凸でもバランスを崩し転倒しやすいので、周囲の人の見守りや協力が安全を確保する上で大切になります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：前方をよく確認せず歩いていた
- 人：目測を誤った
- 人：とっさに障害物を避ける能力がなかった
- 環境：路面の状態から、ベンチの近くが一番通りやすかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 238

人の足をひいた衝撃で、バランスを崩しそうになる

事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

ベンチに座っていた人の足を歩行車でひいてしまい、キャストが浮いたことでバランスを崩しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ